

## 電気自動車販売台数世界 No.1<sup>(※1)</sup> の BYD BYD Auto Japan 「名古屋モビリティショー2023」に初出展 日本導入の3車種「BYD ATTO 3」「BYD DOLPHIN」「BYD SEAL」を展示

BYD Auto Japan 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：東福寺 厚樹、以下 BYD Auto Japan）は、ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)で開催される「名古屋モビリティショー2023」(2023年11月23日(木・祝)～11月26日(日))に初出展いたします。

(※1) 電気自動車=EV/PHEV/FCVの総称 台数情報出典：マークライNZ(株)



今回の名古屋モビリティショーは、JAPAN MOBILITY SHOW 2023 終了後に名古屋に会場を移して開催される国内最初の地方ショーです。BYD Auto Japan ブース(ポートメッセなごや・第1展示館)では、日本で現在発売中のミドルサイズ SUV「BYD ATTO 3」、コンパクト EV「BYD DOLPHIN」の2車種に加え、日本発売車種第3弾として2024年春に導入予定のEVセダン「BYD SEAL」の計3車種を展示いたします。さらに、アンケートに答えると、抽選でBYD SEALやBYD DOLPHINのモデルカー、BYD お守りマスコット、ステッカーなどオリジナルグッズのプレゼントがもらえるキャンペーンを実施するほか、会場では「BYD DOLPHIN Long Range」に体験試乗<sup>(※2)</sup>していただくことも可能です。

BYD Auto Japan は「e モビリティをみんなのものに。」をブランドパーパスとして掲げ、全国にBYD のe モビリティに触れていただける場を拡充しております。東海地方では、ショールームを備えた正規ディーラー店舗としてBYD AUTO 名古屋北、BYD AUTO 四日市などをオープンしているほか、BYD AUTO 岡崎をはじめとした開業準備室では、試乗や購入に関する相談および購入後のアフターサービスの受付を行っています。

今回は、東海地方のさらに多くの方々に、BYD ブランドが提供する様々なEVの選択肢を知っていただく機会とするべく「名古屋モビリティショー2023」への出展を決定しました。実際に車両に触れていただき、BYD のe モビリティを身近に感じていただく場になればと考えております。

(※2) 試乗については、名古屋モビリティショー2023からの案内をご参照ください。

## ■名古屋モビリティショー2023 概要

名称	名古屋モビリティショー2023
会場	ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場) 名古屋市港区金城ふ頭2丁目2番
会期	2023年11月23日(木・祝)～11月26日(日) 09:00～18:00 ※最終日のみ17:00まで
公式サイト	<a href="https://www.nagoya-mobilityshow.jp/">https://www.nagoya-mobilityshow.jp/</a>

## ■協賛ディーラー

BYD AUTO 名古屋北	<a href="https://www.byd-japan.com/nagoya">https://www.byd-japan.com/nagoya</a>
BYD AUTO 岡崎	<a href="https://byd-okazaki.com/">https://byd-okazaki.com/</a>
BYD AUTO 四日市	<a href="https://byd-flc.com">https://byd-flc.com</a>

## ■BYD Auto Japan ブース 展示モデル

### ● BYDの最新技術を結集したハイエンドセダン「BYD SEAL」

「BYD SEAL」は、「BYD DOLPHIN」と同じく海からのインスピレーションを得ており、スポーティーかつエレガントなデザインを特徴としたEVセダンです。BYDが2022年5月に発表したモデルで、その航続距離は555km(欧州WLTP値<sup>※3</sup>)に達します。ブレードバッテリーを直接車体に設置し構造体としての役割をもたせることで、安全性・安定性を向上させるCTB(Cell To Body)技術など、BYDの最先端技術が結集された「BYD SEAL」が、EVの新しい選択肢となることを期待しています。日本では、2024年春に導入予定です。



▶ 「BYD SEAL」製品ページ：<https://byd.co.jp/e-life/cars/seal/>

(※3) 自社による算出値

### ● 最新テクノロジーを備えたスポーティーで躍動感あふれるミドルサイズSUV「BYD ATTO 3」

スポーティーで躍動感あふれるデザインが特徴の「BYD ATTO 3」は、Euro NCAP<sup>(※4)</sup>の安全性評価で最高評価の5つ星を獲得するなど、高い安全性が裏付けられたBYDの世界戦略EVです。BYDが独自開発した「ブレードバッテリー」<sup>(※5)</sup>を搭載したEV専用のプラットフォーム「e-Platform 3.0」を採用し、470kmの航続距離(WLTC値<sup>※6</sup>)と高い安全性、フラットな床面によって広い車内空間と440Lの荷室容量を実現しています。



▶ 「BYD ATTO 3」製品ページ：<https://byd.co.jp/e-life/cars/atto3/>

(※4) Euro NCAPは、ヨーロッパで実施されている自動車安全性評価テスト。

(※5) 「ブレードバッテリー」は、BYDが2021年に発表した最新型のリン酸鉄リチウムイオン電池で、高い安全性、優れた航続性能、強度、長寿命を特徴にしています。

(※6) WLTC値 国土交通省審査値。一充電走行距離は定められた試験条件のもとでの値。お客様の使用環境や運転方法に応じて異なります。

• **さまざまなライフスタイルにマッチするコンパクト EV「BYD DOLPHIN」**

2021年8月に中国で販売開始して以降、グローバルで約43万台を販売した「BYD DOLPHIN」は、日本市場向けに機械式駐車場のサイズ制限をクリアできるよう全高を1,550mmに調整したコンパクトEVで、一充電あたりの航続距離が400km<sup>(※7)</sup>の「BYD DOLPHIN」と、航続距離が476km<sup>(※7)</sup>の「BYD DOLPHIN Long Range」の2つのグレードをラインナップ。街乗りから遠距離移動まで、お客様のライフスタイルに合わせた選択が可能です。さらに、車内に生命体が残されていることを検知した際にオーナーや周囲の人々に知らせる「幼児置き去り検知システム」をはじめ、充実した安心・安全を支える装備や機能を標準搭載しています。



▶ 「BYD DOLPHIN」製品ページ：<https://byd.co.jp/e-life/cars/dolphin/>

(※7) 自社による実測値 WLTC モード（自社調べ）一充電走行距離は定められた試験条件のもとでの値。お客様の使用環境や運転方法に応じて異なります。

## 【BYD Auto Japan 株式会社について】

BYD の日本法人 ビーワイディージャパン株式会社の 100%出資子会社として設立した BYD Auto Japan は、日本における BYD の乗用車販売サービス専門会社です。

社名	BYD Auto Japan 株式会社（英名：BYD Auto Japan Inc.）
本社所在地	神奈川県横浜市神奈川区金港町1番地7 横浜ダイヤビルディング19F
事業内容	BYD 製乗用車の販売、アフターセールスおよびその他関連業務
代表取締役社長	東福寺 厚樹

## 【BYD グループとは】

BYD は、1995年に中国・深圳で創業し、IT エレクトロニクス、自動車、新エネルギー、都市モビリティの4つの領域で事業をグローバルに展開しています。バッテリーメーカーとして創業した背景から、バッテリーはもとより、モーターやコントローラーなど電気自動車のコアとなる技術を自社開発・製造しています。特に、自動車事業においては、世界70超の国と地域、400超の都市に電気自動車を展開し、中国国内では9年連続でNEV販売台数第1位<sup>(※8)</sup>となりました。さらに、2022年には電気自動車販売台数世界No.1<sup>(※1)</sup>となりました。

(※8) 出典「Global EV Outlook 2020」

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2023年11月16日（木）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

以上

### 製品に関するお問い合わせ：

BYD Auto Japan 株式会社 お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>